



【特集】

## 技

### 歴史のある商店街と町並みに溶け込んだ気品溢れる住まい

～既存躯体を活かしながら、間取りを工夫～

#### ●町並み・景観に配慮した家づくり

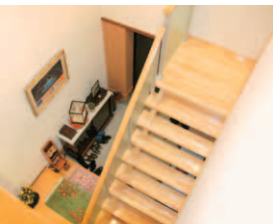
JR泊駅近くの商店街に佇むD様のお宅。これまで家具や仏壇などを扱う商売を営まれてきましたが、時代の流れで商売にかけりが見え、跡継ぎもなかったことなどから、明治より続いた店を閉じ、住まいとしてリフォームされた。店舗を取り壊し、新築する案もあったが、昔ながらの商店街の町並みを損なうことにもなり、通りに面した店舗の既存躯体を活かすことに。通りは、藩政時代、入善舟見・愛本方面からの北陸道の街道筋にもあたり、ひなびた風情を漂わせている。



▲ワインカラーが映えるD邸。フロントヤードにカーポートを設置。



▲黒と赤の配色がお洒落な玄関引き戸を開けて。



ホールから階段の上部は、開放感溢れる吹き抜けの空間。▶



▲リトグラフなどが飾られた玄関・ホールは落ち着いた雰囲気。

#### ●大空間を間仕切り

築三十年ほどの建物は、鉄骨がしっかりしていて、これを活かす手はないと施工担当者からもすすめられたんです。思い出がたくさん詰まった店を重機で壊してしまうのも憚りなかつたものですから」とご主人と奥様は三階建ての建物を愛おしそうに見上げる。

リフォームのポイントは、六十坪ほどの店舗の大空間を間仕切りして床を張り、玄関やホール、LDK、寝室、和室、カーポートなどを設けたことだ。まず、濃いワインカラーの洒落た外壁が町並みに溶け込んだ建物の一階正面には、玄関とカーポート。開口部には、以前



▲床の間の横は書院風の造り。



▲円形の小窓が印象的な和室。

#### ●お気に入りの骨董、家具を飾る

黒と赤の配色がお洒落な玄関引き戸を開けて、玄関・ホールに入ると、三階までの吹き抜け。白を基調にした開放感のある空間は清潔感いっぱい、曼茶羅や不動明王のリトグラフ、品のある壺に活かされた花々が目に優しい印象。左手の階段は手すりアルミ、ガラス調のアクリルパネルを組み合わせたもので、スタイリッシュな雰囲気を醸し出している。

玄関・ホールから奥へ。八帖の和室は、床の間、仏間を設けた趣のある空間。黒檀の床柱や飾り棚など、書



▲幅の広いシステムキッチンで調理もしやすそう。



▲ダウンライトの優しい光が目心地よい廊下。



▲1.25坪タイプのシステムバスは乾燥機能付き。

院風の和のしつらえが心を落ち着かせてくれる。ユニークなのは、ペアガラスの円形の窓で、船内に取り付けられるようなモダンな形。壁内部に頑丈な筋交いがあり、四角い窓を設けることができなかつたための苦肉の策だが、この円形が意外に和室の雰囲気合っており、設計者の技が感じられる。

室内には香炉、花器、座卓、金屏風など、ご主人と奥様の審美眼で選ばれたこだわりの品々が置かれている。

「商売を通して集めてきた品々を飾り、眺める部屋がほしくて、間取りなどを工夫してもらったんです。和の空間にとても満足しています」と奥様は目を細める。

家族団らんの空間となる二十帖のLDKにも奥様お気に入りの大型の食器棚が置かれており、システムキッチンとともに使い勝手がよさそう。

室内は、一階、二階合わせて四台の蓄熱式電気暖房の効果で、日だまりにいるような優しい暖かさ…。時間が経つのも忘れて、長居してしまうほどの心地よい空間と雰囲気に満ちたD邸であった。

今月のオーナー訪問



富山県朝日町 D様

#### 『将来の家族構成を 考えてリフォーム』

二世帯の住まいをということで店舗躯体を有効活用して、大規模なリフォームを行いました。以前の大きな空間が信じられないほど素敵な空間に変わって大満足ですね。冬場の暖かさが特に気に入っています。二階、三階にはまだ間仕切りしただけの部屋もありますが、将来の家族構成なども考えて、これから手を加えていきたいと思っています。

隣家離隔のない場所での外壁のやり替えなど、施工面は大変な苦労があったと思います。また足場を組む際に隣家の皆さんにも協力いただきました。とても感謝しています。



技のリフォーム

0120-183-304